

健康福祉サービス第三者評価結果 公表 共通様式

1 事業者情報

福祉サービスの種別	保育
事業所名	幼保連携型認定こども園 阿星あかつき保育園
代表者氏名（管理者）	園長 森本 創
法人名	社会福祉法人あかつき会
定員（利用人数）	120名
施設・事業所所在地	滋賀県湖南市石部南5丁目1-1
T E L	0748-77-2950
F A X	0748-76-3611
電子メール	morimoto@akatsuki-hoikuen.jp
ホームページアドレス	http://akatsuki-hoikuen.jp/

2 第三者評価機関

第三者評価機関名	一般社団法人 滋賀県介護福祉士会
評価実施期間	令和5年9月20日 令和5年9月21日

### 3 評価の概要

#### ○ 総合評価

社会福祉法人あかつき会は、長年地域の子育て世帯の就労保障と子どもの発達保障を理念として、地域の人々から信頼される保育園「甲西あかつき保育園」を運営してきました。令和2年に社会福祉法人あかつき会が「公立阿星保育園」の運営を受託し、阿星あかつき保育園（公私連携型）として開園し、令和4年4月から新園舎完成とともに幼保連携型認定こども園「阿星あかつき保育園」として新たにスタートしました。子ども一人ひとりの「生きる力」を育むことを目標に、「からだづくり」「こころづくり」「なかまづくり」を大切にしたい保育を実践しています。

法人の基本理念である1.子どもの人権を守る 2.一人ひとりの発達保障 3.笑顔になれる子育て支援 4.みんなですすめる園運営 の4つの理念に基づき「ひとりみんなのために、みんなはひとりのために」を園の理念に掲げ、子どもが主体的・自主的に自分らしく育つための保育に取り組んでいます。また、地域に数多く点在する社会福祉施設と連携を図りながら、地域に根差した保育園として、保育の専門性を活かした一時保育や子育て支援、保育相談等の地域活動へも積極的に参画しています。

また、園では「食育」にも力を入れています。調理室では栄養士、調理員5人体制で協力し合いながらすべての調理を園内で行っています。料理の中心温度や冷却時間温度に至るまで細かく記録され、食中毒予防に努めています。主食も玄米と白米を別々に炊くこだわりで、栄養と美味しさを追求しています。おやつに至るまで栄養にこだわった手作りです。また、5歳児には一人ひとりのリクエストメニューの日を設けるなど、献立や調理の全てにわたり子どもたちの体と心の成長を願う思いが込められています。

#### ○ 特に評価の高い点

##### 1. 子どもの「生きる力」を引き出す保育

阿星あかつき保育園では、子どもたちが自ら選んだ活動を軸とした保育に取り組んでいます。具体的には、園内は裸足、体を思いっきり使って自分の気持ちを表現するリズム運動、野外の散歩での自然（植物、昆虫など）との触れ合い、食育としての有機肥料作り・野菜の栽培・調理野菜等の下準備、雑巾がけや靴箱の掃除など、子どもたちが楽しそうに取り組んでいる様子を見るにつけ、子ども一人ひとりが様々な体験を通じて逞しく育っていることが実感できました。

##### 2. 「生命（いのち）の安全教育」への取り組み

園では、以前より子どもたちの健やかな成長を願って体づくりや食育、平和学習や

安全教育を行ってきました。令和3年度には文部科学省の「生命（いのち）の安全教育推進事業」の委託を受け、様々な取組を行っています。

・職員への「生命の安全教育」の研修、・4,5歳児クラスに向けた「生と性の教育」に取り組んでいる外部講師によるワークショップの開催、・「生命の安全教育」に関する保護者向け研修会やワークショップの開催、・地域住民や教育福祉関係者向けの「生命の安全教育」に関する講演会、・CAP滋賀による大人と子どものワークショップの開催など多彩な企画があります。

子どもたちは、紙芝居や動画、パネル等を使った「プライベートゾーン」についての勉強、「おへその教室」の話を通して「自分自身を大切にし、相手を尊重し大切にすること」を学んでいます。「菌ちゃんの畑づくり」では、野菜くずを発酵させた肥料で野菜を栽培し、「生命の循環」の仕組を学んでいます。「大型魚の解体実演」、「交通安全教室」や「不審者対応訓練」により事故等から自分の体を守るための方法を学ぶ等々、このような「生命の安全教育」を通して、子どもたちは命の大切さと自分や友だちはかけがえのない大切な存在であることを理解していると考えます。

### 3. 園長のリーダーシップのもと職員が働きやすい職場環境づくり

園長は副園長・主任保育士・ブロック長等と適宜相談しながら、子ども主体の質の高い保育に取り組んでいます。公的情報や保育現場からの相談等を積極的に収集して、課題の解決に向けて組織的に対応する体制を整えています。職務分掌表においても職務の役割と責任を明確にして、保育の専門職としての意識づけに努めています。

職員研修についても、詳細な職員研修計画を作成して、職員一人ひとりが必要な研修を受講して自身のキャリアアップに繋げていけるよう考えています。今回の職員ヒアリングからも、阿星あかつき保育園は相談しやすく、働きやすい職場だとの言葉が聞き取れました。

### 4. ホームページやアプリを活用した細やかな情報発信

園での日々の保育風景や食事内容、子どもの表情や様子、保育士からの発信、園長からのアプリによるタイムリーな「園からのお知らせ」等々、ICTをフルに活用した情報発信が行われています。保護者アンケートのコメントからも、「携帯アプリで写真が見られるようになって親切」や「給食の写真や知らないメニューが写真付きで分かってありがたい」など好評な意見が多数見受けられました。

## ○ 改善を求められる点

### 1. 中・長期計画の策定

阿星あかつき保育園として、5年先10年先の園の目指すべき方向性（ビジョン）

を明確にする必要があります。保育園を取り巻く公的制度等が頻繁に変わっていく状況ではありますが、園としての中・長期計画を策定され、職員全員でビジョンを共有し、それに向けて目指していく意識が求められます。また、そのビジョンを地域住民や関係機関へアピールすることで、更なる地域に根差した保育園になると考えます。

## 2. マニュアル類の整備について

保育園を運営していく上での必要な文書類は「法人規程集」や各種マニュアルとして整備されています。今回の聞き取りの中で、何点か未整備なマニュアル類が見受けられました。マニュアルではないですが、人事における総合的な「人事評価基準表」、「実習生やボランティア等の受入れマニュアル」、「虐待対応マニュアル」の策定を望みます。特に「虐待対応マニュアル」は早急な作成が必要です。園が取り組まれている子どもの「生命の安全教育」にも繋がるものだと思います。更に、現在整っている規程やマニュアル類に関しても、日々の保育現場での課題を抽出して対応策や改善点を見直して行くためには、現在あるマニュアル類の定期的な見直しが必要だと思います。

## 3. 地域との関係づくり

阿星あかつき保育園がある石部近辺には、歴史のある福祉施設や障がい者支援施設等が多数存在しています。このような福祉的環境が整っている地域だからこそ、各施設や法人と連携を図り、地域住民を巻き込んだ非常時の災害協力体制づくりを望みます。地域の老人クラブ、ボランティアグループ等との関係づくり、近隣の小・中・高等学校や行政・福祉関係団体との連携、保護者や地域住民との地域一体の防災協定など、積極的な自然災害に対する備えに取り組むことが必要です。

## 4 第三者評価結果に対する事業者のコメント

今回第三者評価を受審し、専門的な観点からの評価や助言をいただくことができました。「阿星あかつき保育園」がスタートしてから5年目となりますが、この間はまさに新型コロナ対策に追われる日々でした。当初予定していた地域の人たちとの交流も制限せざるを得ない状況でしたが、それでも法人の理念を具現化するために、常に子どもを中心に考えながら日々の教育保育に努力してきました。そして、今回の受審結果や保護者アンケートから、その努力が着実に実を結びつつあることに確信を得ることができました。新型コロナの影響もあり少子化が急速に進行しつつある中、安心して子どもを産み育てることができる社会、さまざまなハンディーや違いがありながらもその人らしく輝くことのできるインクルーシブな共生社会、その実現に向けて今回いただいた助言を参考に、今後とも努力していきたいと思えます。